



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名 日本製粉株式会社
コード番号 2001 URL <http://www.nippon.co.jp>

上場取引所 東 大 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小寺 春樹

問合せ先責任者 (役職名) 理事 広報部長 (氏名) 満生 潔

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

TEL 03-3350-3900

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	135,211	2.1	4,032	△19.5	4,555	△15.1	2,586	△15.8
24年3月期第2四半期	132,460	6.3	5,007	△9.0	5,367	△6.6	3,072	△2.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 772百万円 (△59.8%) 24年3月期第2四半期 1,918百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	15.64	—
24年3月期第2四半期	18.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	198,135	103,900	51.6
24年3月期	202,904	104,450	51.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 102,147百万円 24年3月期 102,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	273,000	1.5	9,500	△1.4	10,000	△2.1	6,300	1.0	38.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	170,148,018 株	24年3月期	170,148,018 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	4,739,520 株	24年3月期	4,725,589 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	165,418,848 株	24年3月期2Q	166,821,936 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	3
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により、緩やかに持ち直す傾向が見られたものの、欧州債務危機や円高による輸出の停滞等により、先行き不透明な状況のまま推移しました。

食品業界におきましても、デフレが継続する中で消費が冷え込み、販売競争が激化するなど厳しい事業環境が続いておりますが、当社グループは、事業環境の変化に柔軟に対応するとともに、本年4月からスタートした中期経営計画「SG130 フェーズⅡ」に着実に取り組んでまいりました。

「SG130フェーズⅡ」の諸施策は順調に進んでおり、ニッポン冷食㈱高崎工場の竜ヶ崎工場への生産設備の移転・集約化工事が3月に完了し、本格稼働しています。

タイの洪水で被災したニッポン（タイランド）社のプレミックス工場は生産を再開し、フル稼働体制に戻りました。

また、当社神戸甲南工場の原料穀物サイロが7月に完成、9月には新製粉ラインが完成し、供給能力強化と生産性向上に加え、原料小麦の受入体制整備に伴う保管能力増強とコスト削減が図られております。

なお、原料穀物サイロの保管能力を現状の20万トンから30万トンに増強する計画の一環として、当社千葉工場の原料穀物サイロの収容力を2万5千トン増設する工事を着工いたしました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高1,352億1千1百万円（前年同期比102.1%）、営業利益40億3千2百万円（同80.5%）、経常利益45億5千5百万円（同84.9%）、四半期純利益25億8千6百万円（同84.2%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①製粉事業

本年4月に外国産小麦の政府売渡価格が5銘柄平均で15%引き下げられたことに伴い、7月10日出荷分から小麦粉販売価格を改定しました。

国内の小麦粉需要が伸び悩むなか、当社グループは食の安全・安心志向に対応すべく、品質管理の強化に努めるとともに、お客様のニーズに合わせた新商品の開発、技術講習会の開催、提案営業の推進など、活発な営業活動を展開しました。

国内の小麦粉の販売状況につきましては、前年は震災の影響により需要が一時的に増加したこともあり、出荷数量・売上高ともに前年同期を下回りました。

一方、副製品のふすまは、出荷数量・売上高ともに前年同期を上回りました。

以上により、製粉事業の売上高は486億2千9百万円（前年同期比99.4%）、営業利益は11億1千7百万円（同49.5%）となりました。

②食品事業

業務用では、中食・外食業界の業務用専門展「ファベックス2012」や「米粉ビジネスフェア2012」など各種展示会への出展、イタリア料理技術講習会の開催等、積極的なマーケティング活動を展開しました。その結果、プレミックス類、パスタ・パスタ関連製品の販売が好調に推移し、売上は前年を上回りました。

家庭用では、「お客様ニーズ」と「キッチンの不満解消」をテーマに、全てのお客様にご満足いただける商品の開発を目指し、調理時間・工程を短縮するだけでなく、更にメニューの幅を広げる商品を展開しました。しかしながら、前年は震災の影響により需要が一時的に増加したこともあり、売上は前年を下回りました。

冷凍食品類は、家庭用での高級パスタ「オーマイプレミアム」のラインアップ追加やワンランク上の「オーマイプレミアムゴールド」シリーズ、大盛り「Bigシリーズ」の新商品・リニューアル品の投入等、販売促進活動を展開した結果、売上は前年を上回りました。

以上により、食品事業の売上高は729億8千5百万円（前年同期比104.4%）、営業利益は28億5千8百万円（同107.6%）となりました。

③その他事業

ヘルスケア事業は売上高で前年同期を上回りましたが、ペットケア事業・エンジニアリング事業の売上高は前年同期を下回りました。

以上により、その他事業の売上高は135億9千6百万円（前年同期比99.8%）、営業利益は5千万円（同35.6%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末に比べ47億6千9百万円減少し、1,981億3千5百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が32億1千4百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が5億6千万円、たな卸資産が39億5千2百万円、投資有価証券が28億4千万円減少したことによるものです。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ42億1千9百万円増加し、942億3千4百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が4億8千2百万円、流動負債その他が35億1千3百万円減少したことによるものです。

純資産の残高は、前連結会計年度末と比べ5億4千9百万円減少し、1,039億円となりました。この主な要因は、利益剰余金が14億2千6百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が15億7千1百万円、少数株主持分が4億2千6百万円減少したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1千8百万円増加し、98億6千7百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、103億8千9百万円の収入となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益が45億5百万円、減価償却費が35億5千9百万円となったこと、たな卸資産が39億6千1百万円減少したこと、法人税等の支払により15億5千3百万円の支出があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、64億2千2百万円の支出となりました。この主な要因は、投資有価証券の売却による収入が10億1千6百万円あったこと、固定資産の取得により73億1千4百万円支出したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、39億6千7百万円の支出となりました。この主な要因は、コマーシャルペーパー残高が30億円減少したこと、配当金の支払いにより、11億6千万円支出したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成24年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

今後の日本経済は、節約・低価格志向が更に継続して販売競争がより激化する一方で、穀物価格やエネルギーコストの上昇など、当社グループを取り巻く状況は厳しさを増すことが予想されます。こうした厳しい事業環境においても、当社グループは市場性のある商品開発と営業の連携を密にして「SG130フェーズⅡ」の諸施策を強力に推進し、販売の拡大と全てのコストの見直しを進めて持続的成長を確かなものにしてまいります。

平成25年3月期 通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	276,000	10,500	11,000	6,500	39.29
今回修正予想 (B)	273,000	9,500	10,000	6,300	38.08
増減額 (B－A)	△3,000	△1,000	△1,000	△200	－
増減率 (%)	△1.1	△9.5	△9.1	△3.1	－
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	269,094	9,634	10,210	6,235	37.46

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,903	9,921
受取手形及び売掛金	40,219	39,659
有価証券	200	100
商品及び製品	12,615	11,992
仕掛品	103	44
原材料及び貯蔵品	18,102	14,831
その他	3,931	3,837
貸倒引当金	△144	△99
流動資産合計	84,931	80,287
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,476	27,702
機械装置及び運搬具（純額）	16,169	17,171
土地	25,368	25,645
建設仮勘定	4,374	4,965
その他（純額）	1,834	1,952
有形固定資産合計	74,223	77,438
無形固定資産		
のれん	966	829
その他	724	758
無形固定資産合計	1,690	1,588
投資その他の資産		
投資有価証券	36,388	33,548
その他	6,530	5,613
貸倒引当金	△859	△339
投資その他の資産合計	42,059	38,821
固定資産合計	117,973	117,848
資産合計	202,904	198,135

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,322	23,839
短期借入金	18,531	20,051
未払法人税等	1,610	1,647
賞与引当金	445	476
役員賞与引当金	50	—
その他	18,407	14,894
流動負債合計	63,367	60,909
固定負債		
長期借入金	22,592	21,422
退職給付引当金	2,350	2,392
役員退職慰労引当金	1,048	975
その他	9,094	8,534
固定負債合計	35,086	33,325
負債合計	98,453	94,234
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,240	12,240
資本剰余金	10,666	10,666
利益剰余金	72,855	74,281
自己株式	△1,577	△1,577
株主資本合計	94,185	95,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,383	6,811
繰延ヘッジ損益	2	△2
為替換算調整勘定	△300	△272
その他の包括利益累計額合計	8,085	6,536
少数株主持分	2,179	1,753
純資産合計	104,450	103,900
負債純資産合計	202,904	198,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	132,460	135,211
売上原価	98,359	101,186
売上総利益	34,100	34,025
販売費及び一般管理費	29,092	29,992
営業利益	5,007	4,032
営業外収益		
受取利息	14	14
受取配当金	480	501
その他	412	435
営業外収益合計	907	951
営業外費用		
支払利息	307	295
為替差損	75	16
その他	164	117
営業外費用合計	548	429
経常利益	5,367	4,555
特別利益		
投資有価証券売却益	402	300
固定資産売却益	40	145
特別利益合計	442	446
特別損失		
投資有価証券評価損	1	234
固定資産除売却損	56	123
減損損失	111	—
事業構造改善費用	126	54
工場集約関連費用	173	—
災害による損失	72	—
その他	28	83
特別損失合計	571	495
税金等調整前四半期純利益	5,238	4,505
法人税、住民税及び事業税	2,334	1,614
法人税等調整額	△59	602
法人税等合計	2,275	2,216
少数株主損益調整前四半期純利益	2,963	2,288
少数株主損失(△)	△108	△297
四半期純利益	3,072	2,586

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,963	2,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△983	△1,533
繰延ヘッジ損益	△17	△5
為替換算調整勘定	△36	27
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△5
その他の包括利益合計	△1,044	△1,516
四半期包括利益	1,918	772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,016	1,037
少数株主に係る四半期包括利益	△97	△265

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,238	4,505
減価償却費	3,404	3,559
のれん償却額	140	106
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△36	△65
減損損失	111	—
事業構造改善費用	126	54
災害損失	72	—
受取利息及び受取配当金	△494	△516
支払利息	307	295
投資有価証券売却損益 (△は益)	△409	△294
投資有価証券評価損益 (△は益)	1	234
持分法による投資損益 (△は益)	△89	△86
為替差損益 (△は益)	19	△30
有形固定資産売却損益 (△は益)	△37	△84
固定資産除却損	56	66
売上債権の増減額 (△は増加)	△614	572
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,057	3,961
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,662	△448
その他	△489	△134
小計	△87	11,697
利息及び配当金の受取額	505	540
利息の支払額	△335	△294
法人税等の支払額	△1,727	△1,553
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,644	10,389
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△218	△308
投資有価証券の売却による収入	596	1,016
有形固定資産の取得による支出	△5,655	△7,314
有形固定資産の売却による収入	63	233
貸付けによる支出	△34	△14
貸付金の回収による収入	39	94
その他	△352	△128
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,561	△6,422
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△944	△45
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	2,000	△3,000
長期借入れによる収入	5,290	885
長期借入金の返済による支出	△7,461	△491
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	—
リース債務の返済による支出	△92	△134
配当金の支払額	△835	△1,160
少数株主への配当金の支払額	△9	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,053	△3,967
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	18
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,275	18
現金及び現金同等物の期首残高	21,956	9,848
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,681	9,867

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	48,929	69,912	118,842	13,617	132,460	—	132,460
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,122	661	1,784	1,833	3,617	△3,617	—
計	50,052	70,574	120,626	15,451	136,078	△3,617	132,460
セグメント利益	2,257	2,656	4,914	142	5,057	△49	5,007

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△49百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	48,629	72,985	121,614	13,596	135,211	—	135,211
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,063	291	1,355	1,102	2,458	△2,458	—
計	49,693	73,276	122,970	14,699	137,669	△2,458	135,211
セグメント利益	1,117	2,858	3,976	50	4,027	5	4,032

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。